

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら広島府中第2教室		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との関係性を大切にしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや送迎時に1日の様子を伝え、子どもの状況等を共有するようにしている。 ・保護者に困り事や相談等がある場合、早期に対応や回答をしている。 ・保護者の希望や要望に対して柔軟に対応している。 ・専門用語を出来るだけ使わないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも相談しやすい環境を整えていく。 ・HUGで情報発信を行っていく。
2	職員が意見を言いやすい、働きたいと思える環境作りに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGで業務日報等をいつでも確認できるようにし、気になる点や児童への対応について共有できるようにしている。 ・申し送りノートで伝達事項や通知等を共有している。 ・支援前後にミーティングを行い、今日の取り組みや報告を行う機会を作っている。 ・1人1人職員の意見を大切にしながら療育や支援に反映させている。 ・職員自身が楽しめることを大切にプログラムを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を行いながら、支援の幅を広げていく。
3	子どもが楽しく通え、自立できる力を身につけられるように療育等に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線に立って、支援や療育内容を工夫している ・様々な体験・経験ができるように、戸外活動等を組み込みながら活動プログラムを考えている。 ・挨拶やお礼などの伝え方について学べるように支援し、できた時はしっかりと褒めている。 ・個々の課題に合わせて、活動プログラム中は補助し、自分で出来ることは自分で取り組むようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の意見をしっかりと聞き、活動プログラムに反映させていく。 ・見通しを持ちやすいように構造化を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への支援が十分に行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士が交流できる茶話会等が行えていない。 ・ペアレントトレーニング等の家族支援が行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に午前中を使い、茶話会の企画を検討する。 ・家族支援に対してのニーズを保護者に確認していく。
2	・従業員同士の話し合う時間が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う環境整備ができていない。 ・パート職員の勤務時間が利用児童がいる時間と重なっているため、話し合いに参加し難い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にパート職員も参加して話し合う場を作っていく。 ・話し合いの議題を明確化し、効率的に話し合いの場を持てるように調整する。
3	・地域交流の場が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりで地域の方が参加できるように企画しているが、それのみになっている。 ・地域のお祭り等があれば行っているが、主体的には参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招待できるような企画を検討していく。 ・地域のお祭りに関わるように関係性を構築していく。